

賛成討論

大上 正司

市が半分以上の出資をしており、公的な側面をもった会社運営が必要であり、代表取締役は副市長があたることは正当であります。

賛成多数で可決

平成20年度  
一般会計補正予算

委員長報告

反対討論

岡前 治生

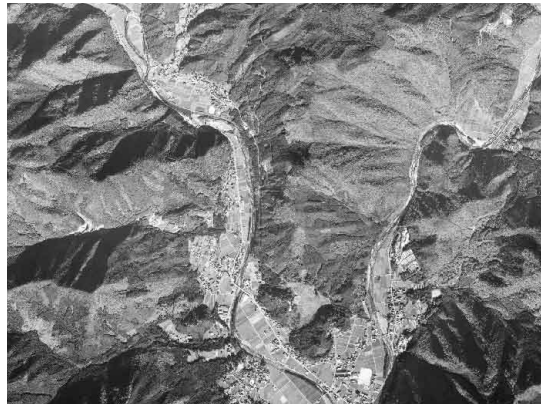
来年度予定されていた山崎南部と千種町の情報通信基盤整備事業費が追加されていますが、特に山崎中心部はNTTが光ファイバーを敷設しており二重投資となるので反対します。

賛成討論

岡崎 久和

11月13日の新聞報道で、南あわじ市では緊急経済対策としてプレミアム付地域振興券を発行されることとなり、公明・市民の会でもそれを実現すべく奔走しました。しかし、当局としては10月の時点で地域活性化緊急安心実現総合対策交付金2300万円に対して、宍粟市の地域性を勘案し、地域情報化計画の推進にあてるよう判断され予算計上されたことについては、公平であり妥当と判断します。

賛成多数で可決



林業再生施設建設予定地の安積山

11月20日

# 臨時議会

宍粟市林業再生事業 林業再生施設用地造成工事請負契約の締結  
神崎・岡本特定建設工事企業が、6億3千万円で落札

第52号議案 宍粟市林業再生  
施設用地造成工事請負契約の締結

反対討論

伊藤 一郎

そもそもこの事業は兵庫県産材の拠点とするものであり、財政の貧弱な宍粟市が6億6千万円もの造成費の半分も持つべき事業ではありません。山崎町須賀沢にある木材流通センターも30年前に同じ制度で立ち上げたもので、現在の数億の負債を抱えています。造成をしなくても山崎木材市場に協力を求めて、木材流通センターの空き地を使えば宍粟市は借金をする必要はなく、平成19年度決算でも経常収支比率が98.2%を示している市財政の逼迫さから、この契約に反対します。

賛成討論

大上 正司

この事業は低迷している林業を何とかしたいと県が計画したもので、宍粟市の活性化は林業の再生にかかっているとの考えにより誘致しようとして取組まれたもの。市内の林業関係者の協力を得て造成までこぎ着けたところです。予算は既に計上され国の2分の1補助と合併特別債を利用し、設計は既にコンサルに依頼、上級官庁の許可や審査を受け、また入札についても市内業者が参加できるよう考慮され執行されたものであり、このような事情を踏まえ、この契約案件に賛成するものです。

賛成多数で可決